

3. 用語集

アルファベット

GTFS (General Transit Feed Specification)

公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通形式を定義したもの。

IC カード (交通系 IC カード)

非接触型のカード型乗車券で、鉄道等において自動改札機へ挿入せずに改札を通過できるようにしたもの。事前にカードにチャージ(前払い)した金額から公共交通機関の乗降車の際に運賃を差し引く機能や定期券の機能などが搭載可能である。カードによっては路線バスやタクシーなど鉄道以外の交通機関の運賃支払や、商業施設等での決済にも利用できるようになっている。

SWOT 分析

何らかの目標を達成する上で、優位になることや、脅威となること等について、強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)の4つのカテゴリーで要因分析し、環境変化に対応した資源の最適活用を図る戦略策定方法の一つ。

あ・ア行

オープンデータ化

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できる形で公表していくこと。

か・カ行

カーシェアリング

1台の自動車を複数の会員が時間を変えて共同利用する自動車の新しい利用形態。当初は仲間同士等で行われていたものが、組織的に運営されるようになったもの。

企画乗車券

鉄道会社などが特別な運送条件(区間、列車、経路、設備、発売期間、設定期間、発売場所など)を定めて発売する乗車券類。

協働

市民等・事業者・行政などの多様な主体が、対等の立場で、それぞれの役割を認め合いながら、共通の目標に向けて協力し合うこと。

均一制運賃

乗車キロに関係なく運賃を均一とする制度。

グリーンスローモビリティ

時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス。

公共交通の分担率

1日のうちに利用した移動手段のうち、公共交通(鉄道、路線バスなど)の利用が占める割合のこと。

交通ネットワーク

鉄道・路線バスや、道路など、人や物の輸送手段の組み合わせにより形成されるネットワークのこと。

コミュニティ

一般的には、「地域社会」や「近隣社会」、「地域共同体」などのこと。

日常的に広く使われているため、その概念は多義にわたっている。

コンパクト・プラス・ネットワーク

地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進めること。

さ・サ行

サイクル&ライド

駅や郊外部などの主要なバス停付近に駐輪場を整備し、自転車とバスの乗り継ぎ利便性を高めたシステム。

市街化区域

既に市街化と形成している区域と概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域のこと。

都市の発展動向などを勘案して市街地として積極的に整備する区域となる。

市街化調整区域

市街化を抑制すべき区域であり、農林漁業用の建築物などや一定の要件を備えた開発行為以外は許可されない。

人口カバー率

公共交通の乗降場所（鉄道駅・バス停）から一定の範囲に含まれる人口の割合のこと。（公共交通でカバーできる人口）

た・タ行

デジタルサイネージ

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディア。（一般社団法人サイネージコンソーシアム HP より）

都市機能

都市的な活動を支えるために必要な機能の総称のこと。

主な都市機能として、居住機能、商業機能、業務機能、工業機能、レクリエーション機能などがあげられる。

都市計画区域

都市計画の基本理念を達成するために都市計画法その他の法令の規制を受けるべき土地の範囲であり、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全する必要のある区域のこと。

都市計画マスタープラン

都道府県が策定した「都市計画区域マスタープラン」及び、それぞれの市町村議会の議決を経た「基本構想」に即して定められる市町村の定める都市計画の方針。正式には「市町村の都市計画に関する基本方針」という。

市町村が主体的に独自性を発揮して、住民参加のもと作成されるものとする。

な・ナ行

乗合タクシー

乗合バスのように乗合旅客を運送するタクシーで、車両の乗車定員は10人以下となる。

は・ハ行

パーク&ライド

市街地への自動車の流入を抑制するための対策で、市街地周辺部に駐車し、市街地では公共交通機関を利用するシステム。

バスロケーションシステム

GPS（現在位置を人工衛星からの電波で測り知る装置等）を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。

バスベイ

バス停留所のある場所に、歩道に切れ込みを入れたような形で設けられる、バスが停車するためのスペースのこと。

バリアフリー

障がい者や高齢者が生活する上での行動のさまたげとなるバリア（障壁・さまたげとなること）を取り去った生活空間や環境のあり方。物理的な障壁も含む。

ファースト/ラストワンマイル

駅やバス停などの公共交通の乗降場所と、自宅や各種施設などの目的地までの、最初あるいは最後の区間のこと。

ベストプラクティス

「最適だと思われる方法」「業界水準」「未だかつてない最高の手法」「最良の事例」などの意味として用いられる用語。

や・ヤ行

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、「ユニバーサル」＝「普遍的な、全体の」という言葉が示しているように、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

ま・マ行

モビリティマネジメント

当該の地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み。

ら・ラ行

立地適正化計画

都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランであり、都市計画マスタープランの一部となる計画のこと。

居住を誘導するエリア、都市機能の立地を誘導するエリア等を定め、公共交通の再編などと一緒に取り組んでいくことにより、『コンパクト&ネットワークの都市構造』の実現を図る。

※本市では令和4年度末に策定予定